

主要事業名	鹿嶋市の歴史資産の保全と継承						作成日	R5.5.7
							担当課名	社会教育課
							担当者名	内田 勇樹
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	○	自治事務 (任意)	○	市民サービス	管理経費	
						建設事業	その他	
事業期間	○	単年度	年度繰返し		期間限定	年度から	年度まで	

1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ				②第四次鹿嶋市総合計画における位置づけ			
基本方針	5	伝統文化・芸術の振興		基本目標	1	人生100年をあざやかに「鹿嶋」で生きる	
体系項目	(2)	歴史、文化遺産（有形・無形）の保存・保全と継承		基本政策	2	共に学び成長しながら生きる	
個別施策	②	歴史的資料を保存・公開する施設の整備		基本施策	2	豊かな鹿嶋文化を共に創り育む	

根拠法令等	文化財保護法
-------	--------

2 事業概要（Plan）

事務事業の概要・背景	これまで鹿嶋市では歴史資料専用の収蔵施設がなく、博物館建設構想などがたびたび計画されているが、諸般の事情により完成に至っていない。そういったなかで現状の施設の老朽化が著しくなってきたこと、収蔵資料への影響が懸念されていることから、歴史資料を次世代へと継承していくための方法と施策を検討するものである。
------------	--

目的（事業の目指すところ）	鹿嶋市の歴史資産を次世代へ継承していくため、文化財資料の現状の把握を実施し、収蔵施設の見直しを検討する。
---------------	--

目的達成のための手順	<ul style="list-style-type: none"> 文化財資料の把握のためのデータベースの整備 データベース整備のための保存基準等の検討 現状の収蔵施設の課題と検討
------------	--

国・県・他自治体の動向、又は市民、その他の意見等	鹿嶋市の文化財資料について、温湿度等の管理が必要な資料を収蔵する施設はなく、また収蔵施設が分散している状況にあるため、所蔵資料の管理が出来ていない状況である。そのため資料の散逸の恐れ、劣化などの危惧があり、保全と継承を実施していくためには、早急な課題解決が必要である。
--------------------------	--

3 数値目標と実績（Do）

数値目標	目標内容	単位	R5年度 (実績)	R6年度 (予定・見込)	R7年度 (予定・見込)	R8年度 (予定・見込)	R9年度 (予定・見込)
		ミニ博物館ココシカ入館者数	人	6,786	7,000	8,000	9,000
	データベース	件	0	2,000	2,500	2,500	2,500

投入コスト	全体計画		R5年度 (決算額：千円)	R6年度 (予算額：千円)	R7年度 (計画額：千円)	R8年度 (計画額：千円)	R9年度 (計画額：千円)
	事業経費	文化財資料保存基準等検討委員会	104	240	240	240	240
	ミニ博物館ココシカ（展示作成費）	455	458	480	500	500	
	維持管理費（草刈業務委託・指定地）	4,123	2,099	2,500	2,500	2,500	
	合計	4,682	2,797	3,220	3,240	3,240	
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他(参加者負担金)						
	一般財源	4,682	2,797	3,220	3,240	3,240	
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）	2	2	3	3	3	
	その他職員（再任用（短）、嘱託職員等）	1	1	1	2	2	

4 具体的施策評価 (Check)

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①鹿嶋市文化財保存基準等の検討 【比率： 40 %】	文化財保存基準検討委員会を設置し、文化財保存基準等について検討する(年2回)。	鹿嶋市内の文化財について、各分野ごとでまとめたものを統一した基準を策定し、全体的な資料把握に努める。	・検討委員会の開催(年2回)し、分類基準を策定した。	・統一した資料基準を各分野の専門家による意見を聴取し、基礎的な分類基準を策定することができた。	・分類基準を策定したこと、文化財の統一したデータベース作成が行えるようになった。	個別事業実績評価点: 30.2 [課題] ・分類基準が策定し、データベースの基礎資料作成を実施していくうえで旧資料台帳との整合性が必要である。
②公有地の維持管理 【比率： 20 %】	・史跡の一つ郡家跡において、史跡公園整備までの間、適正に維持管理する。(郡家跡土地公有化面積71665.01㎡) ・土地の公有化	・見学者が見て回れるように郡家跡を管理をする。 ・郡家跡の史跡内で未買地の土地の公有化を進める。	・草刈り等を行い、適正な維持管理ができた。 ・未公有地化土地所有者と協議のため内容を精査。	・鹿島郡家跡は、現地状況を見ながら適切な管理を行い、簡易的な遺構表示等を行い、見学者への周知を図った。 ・未指定地の個所について、追加指定を進める協議を実施した。	・調査成果を踏まえた簡易看板の設置など見学者への周知を図ることができた。 ・未指定地の追加指定について、国・県と協議を実施した。	個別事業実績評価点: 20.0 [課題] 国からの指導により、追加指定の個所の相続関係などの整理が必要となった。
③ミニ博物館コソシカの健全運営 【比率： 30 %】	・国史跡の内容等について、常設展示・企画展示を行って、市民や観光客に周知活動を行っていく。	・ミニ博物館コソシカにおいて、企画展示の開催や講座の開催、観光客への国史跡の案内などを行う。	・神宮の歴史や鹿島郡家跡のジオラマ作成を行い、観光客等に周知活動を行った。(企画展4回(R4年度5回)、特別展2回(R4年度2回))	・ミニ博物館コソシカ入館者数 6,774人(R4年度入館者数6,336人)	・企画展等を開催し、観光客等の集客に努めた。 ・商工会の夏祭りや神の道まち歩きツアーなどと連携を図り周知を広めた。	個別事業実績評価点: 25.8 [課題] ・小規模の建物、建物の老朽化などの課題点がある。 ・人員が少数である。
④データベース基礎資料作成 【比率： 10 %】	文化財保存基準をもとにメタデータの作成を実施し、データベースの基礎資料台帳を作成する。	鹿嶋市内で収蔵している文化財のメタデータを作成するための雛型を作成する。	文化財保存基準に基づいたメタデータの雛型の作成	メタデータシートの作成を実施することで、将来的に作成するデジタルアーカイブの基礎台帳作りを始めることができた。	メタデータ以外の各分野の項目について、元の資料台帳と整合性がとれるように作成した。	個別事業実績評価点: 6.5 [課題] 現在ある2,000点以上の資料台帳を基準に合わせてデータベースを再構築していかなければならない。

5 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。		合計点数	82.5	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	A
実績	鹿嶋市内の歴史資産の保全と継承のため、これまで博物館等の検討が実施されたが、様々な理由により未だ実行されずにいる。これらの根幹的な見直しとして、鹿嶋市内に現在何を収蔵し、保管しているのかを把握するためにも、統一した資料台帳の作成が必要となり、検討委員会を設置し、専門家の意見を踏まえたうえで、分類基準の基礎を策定することができた。また分類基準をもとにデータベースの基礎を作成することが出来た。史跡については、新たな追加指定に向けて、地権者及び国・県と協議を実施し、申請等について整理することが出来た。						
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	現状維持	理由	文化財の分類基準が策定できたため、今後データベースの作成をすすめて統一した資料台帳を作成していく必要があるため。				
課題	現在収蔵している文化財資料の資料台帳約2,000点以上のデータベース作成時間が課題である。紙媒体での資料台帳のデジタル移行やもとの資料台帳との整合性をとれるように整理していく必要がある。またデータベース作成後の収蔵施設の検討、デジタルアーカイブに向けたデータベース活用も課題である。史跡については、追加指定のほかに指定地内の未公有地個所における公有地化の交渉が課題である。						
改善策	データベース作成にあたっては、効率的に作成できるように整合性等を修正しながら、現在職員(担当係3名)で分配しながら進めていく。また収蔵施設の検討やデジタルアーカイブの整備については、引き続き検討委員会を開催し、専門家の意見を取り入れながら検討していく。追加指定、公有地化については、地権者と引き続き協議、交渉を行いながら実施していく。						